

7. 誘導施策

第3章で示した「基本方針」に基づき、取組むべき施策を設定しました。

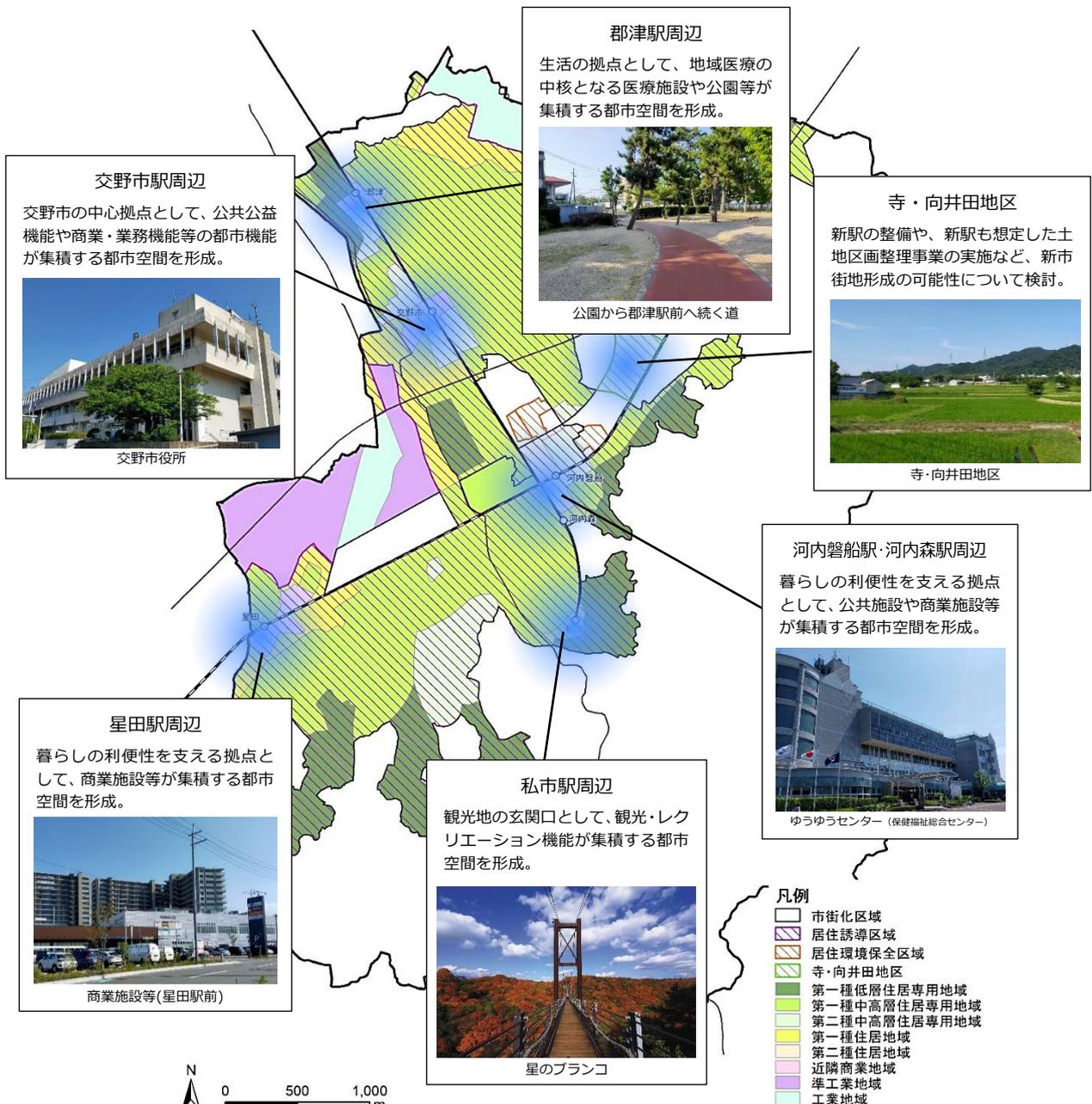
①拠点の役割に応じた機能の充実・強化

○拠点における機能の強化

- ・本市の拠点は、交通結節機能を有することから、交通至便な立地を活かしつつ、生活利便機能の維持・確保を軸にしなが、拠点の役割に応じて、まちなかの活力やにぎわい創出に寄与する機能の誘導を図るとともに、歩きながら心地よさを感じることができるウォーカブルな空間づくりを進めます。

○寺・向井田地区における新市街地の形成

- ・新駅の整備や、新駅も想定した土地区画整理事業の実施など、第二京阪道路と都市計画道路の結節点として、新市街地形成の可能性について検討します。



②子育て層を軸に多様な世代が暮らしやすい居住環境づくり

○心地よく魅力的な、誰にでもやさしい暮らしの環境づくり

- ・多様な世代がまちなかで心地よく過ごせるように、バリアフリーな環境を整備するとともに、店舗の充実など、駅周辺を中心ににぎわいが生まれる土地利用を誘導しつつ、地域の実情にあったきめ細やかな住環境の整備を進めます。

【具体的な誘導施策例】

- ・地区計画制度によるゆとりのある良好な住環境の維持・向上
- ・景観まちづくり計画によるまちなみの誘導
- ・用途地域等による商業施設等の誘導



良好な住環境(松塚地区地区計画区域内)

○子育てしやすい環境づくり

- ・公園やひろばの整備による子どもが遊びやすい環境の創出、子育て機能の充実、市内における働く場の確保等、子育てしやすい環境づくりを進めます。

【具体的な誘導施策例】

- ・ボール遊び広場やスケボー広場の整備
- ・子育て支援情報を集めた「交野市子育てマップ」の配付やSNS「おりひめすこやかナビ」で子育て情報を発信
- ・企業立地促進奨励金制度等による市内雇用の場の確保



倉治1丁目高架下ボール遊び広場

○地域資源の活用やみどり豊かなまちづくり

- ・歴史や文化を活かした散策ルートや緑地、公園を活かした歩行環境の向上など、地域資源を活用したまちの魅力向上やみどり豊かなまちづくりを進めます。

【具体的な誘導施策例】

- ・交野の魅力がいっぱい詰まった「交野市観光マップ」の配布
- ・桜回廊事業（緑道桜枯木補植事業）による桜の補植整備

○所有者による空き家の適正管理と有効活用

- ・空き家問題に対する意識啓発をはじめ、空き家活用に係る様々な情報提供を通して、所有者による空き家の適正管理と有効活用を推進します。

【具体的な誘導施策例】

- ・空き家問題に対する啓発セミナー・相談会の開催
- ・中古住宅取得に対する補助制度の活用
- ・民間企業・団体との連携協定の締結

③安全・安心に暮らせる、災害に強い環境づくり

○市街地の防災性の向上

- ・建築物の耐震対策の促進、交野市防災拠点整備指針に基づく防災拠点の整備など、市街地の防災性向上を図ります。

○治山・治水対策

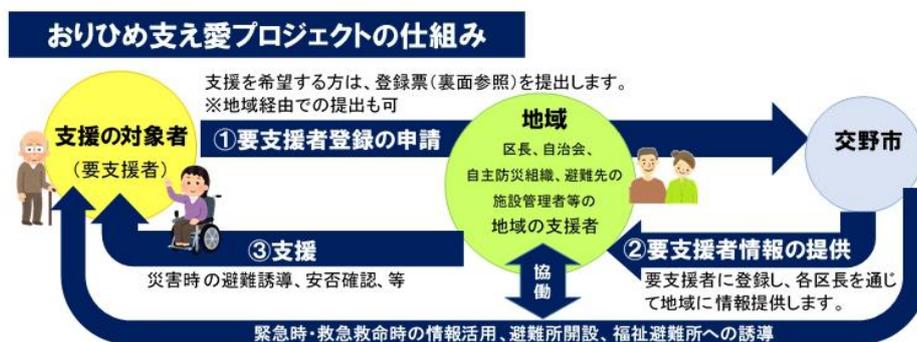
- ・急傾斜地における土砂災害対策、河川、下水道施設等の適切な維持管理、ため池における防災・減災対策など、治山・治水対策を進めます。

○地域主体の防災力の向上

- ・防災知識の普及啓発や避難誘導體制の整備など、地域主体の防災力の向上を図ります。

【具体的な誘導施策例】

- ・耐震性の不足した木造住宅を対象とする補助制度の活用
- ・避難行動要支援者の登録制度（おりひめ支え愛プロジェクト）
- ・防災訓練の実施
- ・トイレカーやA I 循環式シャワートラック等の導入



防災訓練の様子



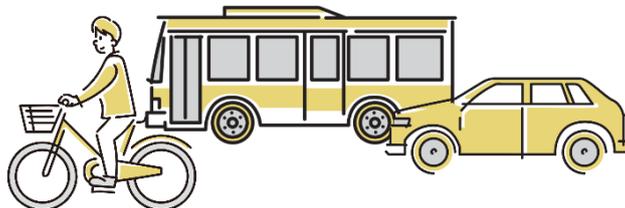
トイレカー

④市民の移動手段の確保

○二次交通の維持と利便性の向上

- ・ 地域にあった交通についてはあらゆる世代における二次交通の確保及び利便性の向上を図り、持続的にモビリティマネジメントを推進します。

※二次交通は、本市の都市構造の軸となる鉄道を一次交通としたときの、鉄道を補完する交通手段を指しています。



○交通結節拠点としての充実・強化

- ・ 駅前広場のバリアフリー化、サイン整備など、交通結節拠点としての機能の充実・強化を図ります。

【具体的な誘導施策例】

- ・ 交野市地域公共交通会議の開催
- ・ 高齢者・障がい者(児)の方を対象とした交野市外出支援制度の活用
- ・ 鉄道駅周辺のバリアフリー化の促進